

LDC-RGB2 V02W

D-COMPONENT to RGB Converter

D端子-RGBコンバーターユニット ユーザーズマニュアル

LDC-RGB2

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	4
ご注意	4
同梱品の確認	5
第1章 製品のご紹介	6
1.1 製品の概要	6
1.2 各部の機能と名称	8
1.3 本製品の設置について	13
第2章 接続と設定について	14
2.1 接続の手順	14
2.2 操作と設定について	17
2.2.1 セレクトボタン/ダイヤルの操作	17
2.2.2 メニュー構造	19
2.3 ディスプレイモードの設定	20
カスタムモードの設定方法	24
2.4 モニタの調整	26
2.5 入力の切り替え	29
2.6 映像調整	31
2.7 音声設定	35
2.8 ワイド設定	37
2.9 リモコン学習機能とその設定方法	39
2.10 リセット	42
第3章 補足事項	44
3.1 トラブルシューティング	44
3.2 用語解説	48
3.3 D端子コンポーネントの各フォーマット	54
ハードウェア仕様	55

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

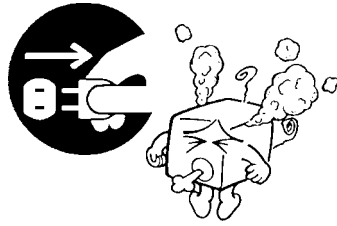


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

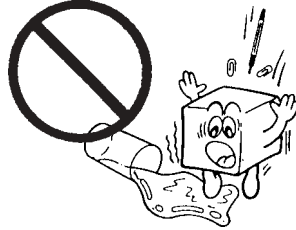
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

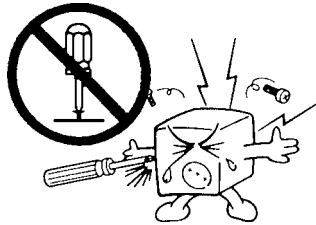
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

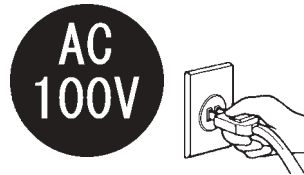
ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で

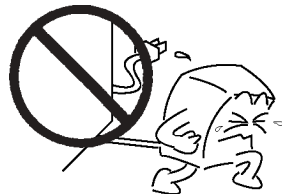
使用してください。

ACアダプタは必ず本製品付属のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



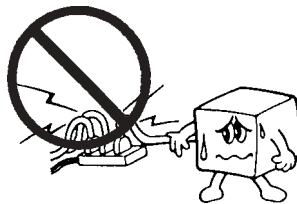
ケーブルを大切に。

ケーブル類は破損しないように十分ご注意ください。ケーブル部分を持って抜き差ししたり、ケーブルの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

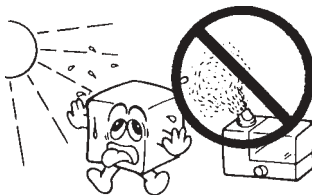
ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



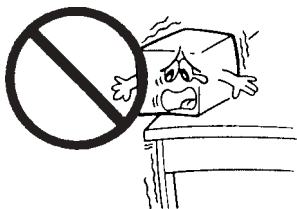
ケーブルは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



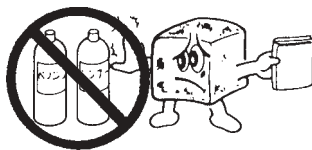
高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



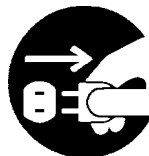
本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いておいてください。



ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、
項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

同梱品の確認

D端子-RGBコンバータ	1台
ACアダプタ	1個
コンポーネントビデオケーブル (D端子 - D端子)	1本
コンポーネントビデオケーブル (D端子 - ピンプラグ)	1本
アナログRGBケーブル (ミニD-Sub 15ピン)	1本
ステレオ - オーディオケーブル (ピンプラグ - ピンプラグ)	2本
ステレオ - オーディオケーブル (ミニプラグ - ミニプラグ)	1本
スタンド	1セット
取扱説明書	本書
保証書	本書巻末

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

第1章

製品のご紹介

1.1 製品の概要

本製品は、AV機器などから出力される各種ビデオ信号を、パソコン用モニターで表示可能なアナログRGB信号に変換するコンバータ・ユニットです。地上/BS/110 Sデジタルチューナーから出力されるハイビジョン信号や、DVDプレーヤー、家庭用ゲーム機、ビデオ機器などから出力されるビデオ信号を入力し、パソコン用モニターに表示させることができます。

本製品の特徴

ハイビジョン対応

従来のビデオ信号である480iだけでなく、プログレッシブ信号の480p、デジタルテレビ放送で使用される1080iや720Pなどのハイビジョン信号にも対応しています。

多彩なAV機器、ゲーム機に対応

コンポジットビデオ、Sビデオ、コンポーネントビデオ(D4)の3種類のインターフェースを備えており、市販のAV機器やゲーム機との高い接続性を持っています。

液晶モニターに対応

出力解像度を設定できるスケーラを内蔵しており、お手持ちの液晶モニターに最適なモード()を選ぶことができます。また、DLP方式などの固定画素プロジェクタにも対応しています。

XGA、WXGA、SXGAの各モードに対応しています。

オーディオ入出力機能付き

映像信号の入力切替に連動した音声入出力端子を備えており、ビデオソースの切替に連動して、音声も切り替えることが可能です。また、音量可変のヘッドフォン出力も備えています。

コンポジットビデオおよびSビデオ入力端子に接続可能な機器

ビデオデッキ(VHS、SVHS、Beta、Video8、Hi8、DV、DVHS、HDV、他)(1)
ビデオカメラやデジタルカメラ(2)
DVDプレーヤー
家庭用ゲーム機(1)(2)
その他、コンポジットビデオ出力またはSビデオ出力端子を持ったAV機器(1)(2)

- 1 本製品はTBC(タイムベースコレクター)機能を搭載しておりません。入力信号にジッターやスキューなどの歪みがある場合や、規格で定められた信号以外が入力された場合などには、画面表示が乱れる場合があります。
- 2 これらの機器のビデオ出力には特殊なインターフェースが採用されている場合があります。本製品との接続には、それぞれの機器用に指定されたケーブルをご用意下さい。

コンポーネント入力端子（D端子を含む）に接続可能な機器

地上 / B S / 110 S デジタルチューナー
 DVDプレーヤー
 家庭用ゲーム機（ 3 ）
 HDV ビデオカメラ（ 3 ）
 その他、コンポーネントビデオ出力端子を持ったA V機器（ 3 ）

- 3 これらの機器のビデオ出力には特殊なインターフェースが採用されている場合があります。本製品との接続には、それぞれの機器用に指定されたケーブルをご用意下さい。

R G B 入力端子に接続可能な機器

アナログ R G B 出力端子を持ったパソコンやワークステーション（ 4 ）

- 4 1280 × 1024 ドットを越える解像度でのご使用はお勧めできません。

R G B 出力端子に接続可能なモニタ

水平同期周波数 31 ~ 45KHz、垂直同期周波数 50 ~ 60Hz のインターレースおよびプログレッシブ（ノンインターレース）信号に対応し、表示サイズおよび表示位置の調整が可能なアナログ R G B 入力の C R T モニタまたはアナログ R G B 入力の三管式プロジェクト。

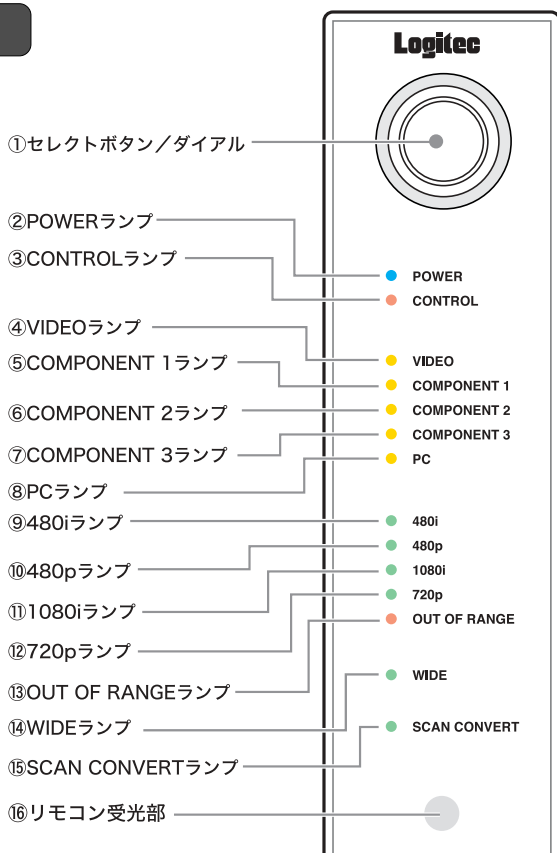
XGA（1024 × 768 ドット）、WXGA（1280 × 768 ドット）、SXGA（1280 × 1024 ドット）のいずれかの解像度に対応したアナログ R G B 入力の固定画素モニタまたは固定画素プロジェクト。

サポートされる入力信号の種類（R G B 入力端子を除く）

入力端子		入力信号			
		480i	480P	1080i	720P
VIDEO	コンポジットビデオ		×	×	×
S-VIDEO	Sビデオ		×	×	×
COMPONENT-1	コンポーネント（D4）				
COMPONENT-2	コンポーネント（D4）				
COMPONENT-3	コンポーネント（Y, Pb, Pr）				

1.2 各部の機能と名称

本製品前面



セレクトボタン/ダイヤル

セレクトボタンを押すことにより、入力ソースを切り替えます。

ビデオ入力 (VIDEO)、D 端子入力 1 (COMPONENT 1)、D 端子入力 2 (COMPONENT 2)、コンポーネント入力 3 (COMPONENT 3)、RGB 入力 (PC) の順に切り替わります。

現在選択されている入力ソースは、 から の表示ランプで確認できます。

ビデオ入力は、S ビデオ端子にケーブルが接続されていれば S ビデオ入力が、接続されていなければコンポジットビデオ入力自動的に選択されます。

選択された入力情報は電源が切れてもメモリに保持されていますので、再び電源が入ると最後にご覧になっていた入力が自動的に選択されます。

また、セレクトボタンを 3 秒以上長押しすることで調整モードに移行し、 の CONTROL ランプが点灯してモードの移行を知らせます。

ダイヤルを回すと音声出力 1 (PHONE) の音量が変わります。また、調整モードでは項目の選択に使用します。

POWER ランプ

本製品が動作中に青色に点灯します。

CONTROL ランプ

本製品が調整モードになっている場合にオレンジ色に点灯します。

VIDEO ランプ

S ビデオ入力、またはコンポジットビデオ入力 (VIDEO) を選択しているときに、黄色に点灯します。

ビデオ入力は、S ビデオ端子にケーブルが接続されていればS ビデオ入力が、接続されていない場合はコンポジットビデオ入力が自動的に選択されます。

COMPONENT 1 ランプ

D 端子入力 1 (COMPONENT 1) を選択しているときに、黄色に点灯します。

COMPONENT 2 ランプ

D 端子入力 2 (COMPONENT 2) を選択しているときに、黄色に点灯します。

COMPONENT 3 ランプ

コンポーネント入力 3 (COMPONENT 3) を選択しているときに、黄色に点灯します。

PC ランプ

R G B 入力 (PC) を選択しているときに、黄色に点灯します。

480i ランプ

入力信号が 480i (525i) の場合に、緑色に点灯します。

480p ランプ

入力信号が 480p (525p) の場合に、緑色に点灯します。

1080i ランプ

入力信号が 1080i (1125i) の場合に、緑色に点灯します。

720p ランプ

入力信号が 720p (750p) の場合に、緑色に点灯します。

OUT OF RANGE ランプ

入力信号が本製品でサポートされていない場合、および信号が入力されていない場合に、オレンジ色に点灯します。

WIDE ランプ

入力信号がワイド画面 (16:9 画面) の場合に、緑色に点灯します。

機器によってはワイド画面識別信号を出力しない場合がありますが、その場合はランプは点灯しません。

SCAN CONVERT ランプ

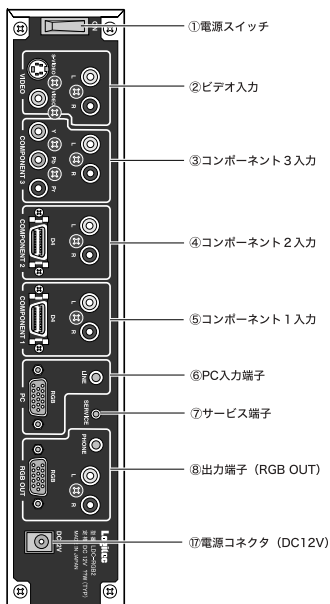
入力信号がスケーラ処理されている場合に、緑色に点灯します。

入力信号がトランスコード処理されている場合に、オレンジ色に点灯します。

リモコン受光部

リモコン学習機能を使用するときにご使用のリモコンからの信号を受信する部分です。リモコン学習機能については「2.9 リモコン学習機能とその設定方法」をご参照ください。

本製品背面

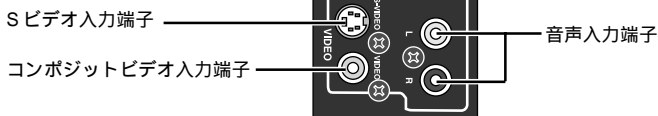


電源スイッチ

本製品の電源をオン/オフします。

ビデオ入力 (VIDEO)

Sビデオ端子またはコンポジット出力のAV機器を接続します。



Sビデオ入力端子 (S-VIDEO) : 4ピンミニDIN

AV機器などのSビデオ出力ケーブルを接続します。

本入力端子を選択時には、前面のVIDEOランプが点灯します。

コンポジットビデオ入力端子 (VIDEO) : RCAピンジャック

AV機器などのコンポジットビデオ出力ケーブルを接続します。

本入力を使用する際には、Sビデオ入力端子にケーブルを接続しないで下さい。

(Sビデオケーブルを接続すると、Sビデオ入力が優先されます)

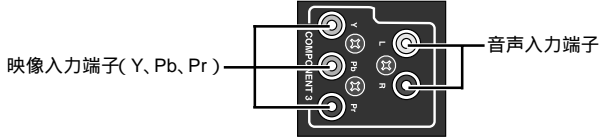
本入力端子を選択時には、前面のVIDEOランプが点灯します。

音声入力端子 (L/R) : RCAピンジャック

AV機器などのオーディオ出力ケーブルを接続します。

コンポーネント 3 入力 (COMPONENT 3)

コンポーネントビデオ出力が RCA 端子の AV 機器を接続します。



映像入力端子 (RCA) : RCA ピンジャック

A V 機器などのコンポーネントビデオ出力ケーブルを接続します。
本入力端子を選択時には、前面の COMPONENT 3 ランプが点灯します。

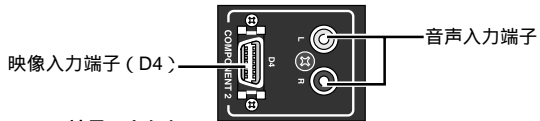
音声入力端子 (L/R) : RCA ピンジャック

A V 機器などのオーディオ出力ケーブルを接続します。

コンポーネント 2 入力 (COMPONENT 2)

コンポーネント 1 入力 (COMPONENT 1)

D 端子出力の AV 機器を接続します。コンポーネント 2 入力とコンポーネント 1 入力は同じ機能を持つ入力端子により構成されています。



映像入力端子 (D4) : D 端子コネクタ

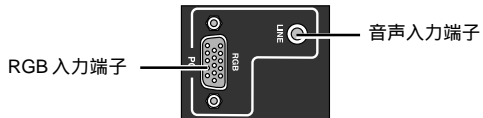
A V 機器などの D 端子ケーブルを接続します。
本入力端子を選択時には、前面の COMPONENT 2 または 1 ランプが点灯します。

音声入力端子 (L/R) : RCA ピンジャック

A V 機器などのオーディオ出力ケーブルを接続します。

PC 入力端子 (PC)

パソコンからのアナログ RGB 出力ケーブル、オーディオ出力ケーブルを接続します。



R G B 入力端子 (RGB) : Mini D - Sub 15 ピン

PC などのアナログ R G B 出力ケーブルを接続します。
本入力端子を選択時には、前面の PC ランプが点灯します。

音声入力端子 (LINE) : 3.5 ミリ ステレオミニジャック

パソコンのオーディオ出力ケーブルを接続します。

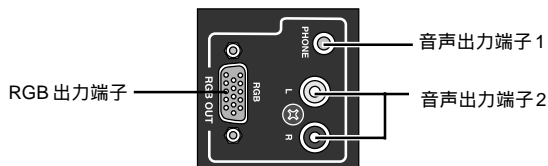
サービス端子 (SERVICE)

メーカーでの保守に使用します。



出力端子 (RGB OUT)

AV機器などから入力された映像と音声の信号を各端子に出力します。



RGB出力端子 (RGB) : Mini D - Sub 15ピン

モニタのRGBケーブルを接続します。

音声出力端子 1 (PHONE) : 3.5ミリステレオミニジャック

ヘッドフォンやパワーアンプ内蔵スピーカーを接続します。

本出力端子の出力レベルは、前面のダイヤルを回転させることで調整することができます。

音声出力端子 2 (L/R) : RCA ピンジャック

AV機器やオーディオ機器の音声入力端子に接続します。

本出力端子の出力レベルは固定 (入力レベルに依存) です。

電源コネクタ (DC12V)

付属のACアダプタを接続します。

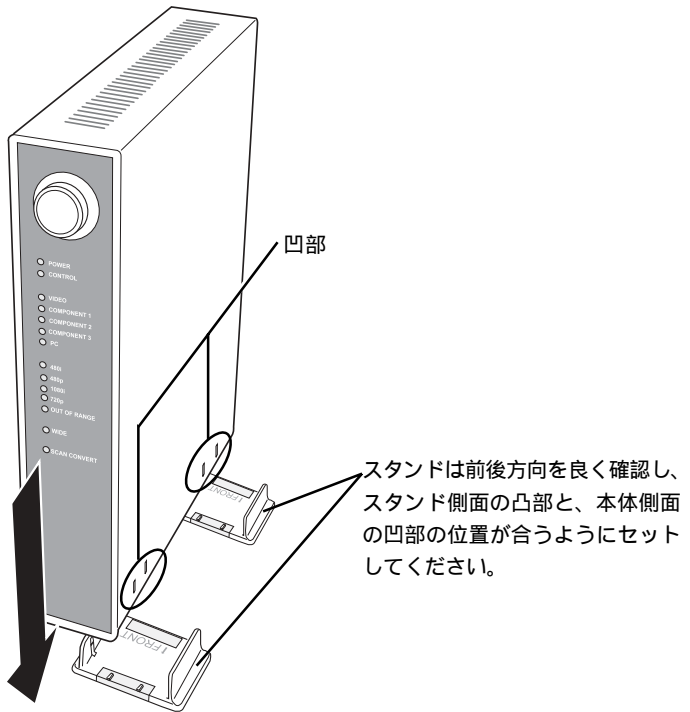
付属のACアダプタ以外は絶対にご使用にならないで下さい。

1 . 3 本製品の設置について

本製品は縦置きでの設置を前提に設計されています。

横置きでご使用になると、内部回路の冷却が不十分となり故障などのトラブルの原因となりますのでご注意ください。

付属のスタンドを使用して以下のように設置してください。



第2章 接続と設定について

2.1 接続の手順

！ ご注意

接続の前に、パソコンやAV機器およびモニタなど全ての機器の電源をオフにしておいて下さい。

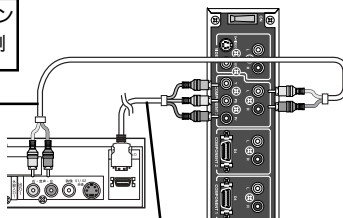
ここで使用する機器の画像はあくまでも一例です。ご使用の機器によりコネクタの位置などが異なりますので、接続の際は各機器の取扱説明書もご参照ください。

1. AV機器などからの入力

本製品に付属、あるいは市販のD端子ケーブルまたはコンポーネントケーブルを使って、AV機器のD端子出力またはコンポーネント出力と、本製品のコンポーネント入力端子を接続します。また、本製品に付属、あるいは市販のオーディオケーブルを使って、AV機器のオーディオ出力と、本製品のオーディオ入力端子を接続します。

D端子-RCA端子変換ケーブルを使用してコンポーネント入力3の映像入力端子へ接続した例

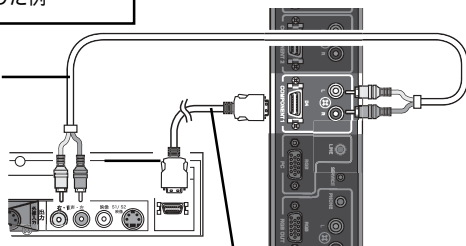
オーディオケーブル



D端子-RCA端子変換ケーブル

D端子-D端子ケーブルを使用してコンポーネント入力2の映像入力端子へ接続した例

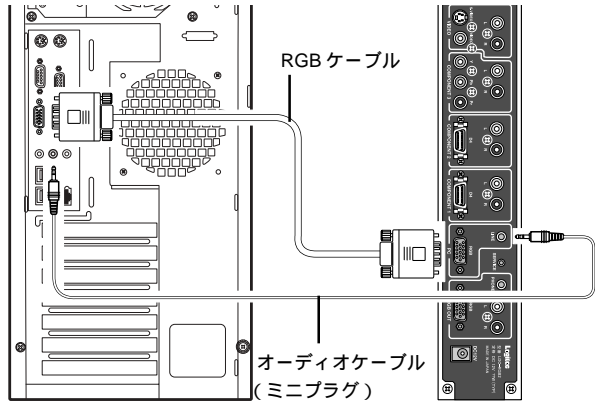
オーディオケーブル



D端子-D端子ケーブル

2. パソコンからの入力

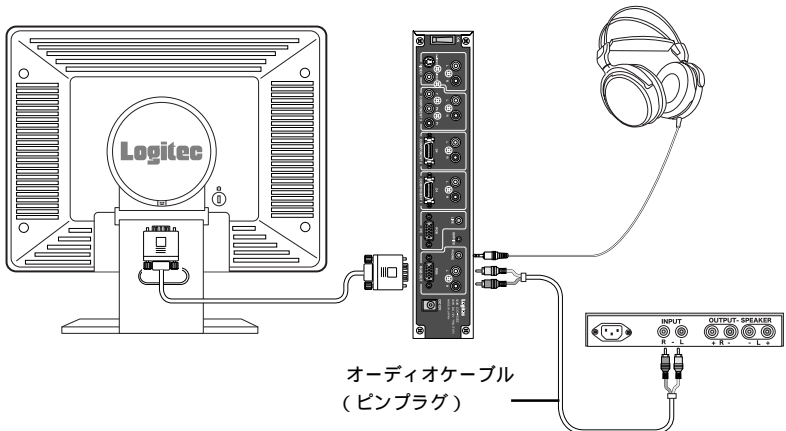
本製品に付属のRGBケーブルを使って、パソコンのRGB出力と本製品のRGB入力を接続します。また、本製品に付属のオーディオケーブルを使って、パソコンのオーディオ出力（またはヘッドフォン出力）と、本製品の音声入力端子を接続します。



2

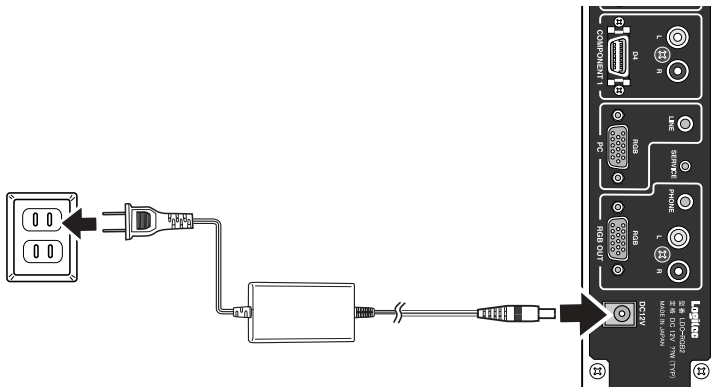
3. 本製品からの出力

モニタに接続されているRGBケーブルを、本製品のRGB出力に接続します。また、本製品に付属のオーディオケーブルまたは市販のオーディオケーブルを使って、お手持ちのオーディオ機器のオーディオ入力と、本製品のオーディオ出力を接続します。ヘッドフォンをお持ちの場合は、それを接続することもできます。



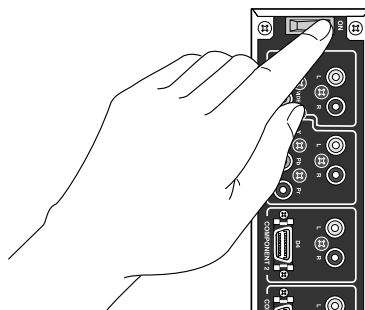
5. ACアダプタの接続

次に本製品背面の電源コネクタに、付属のACアダプタのプラグを接続します。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続して下さい。



6. 電源を ON にします

接続ができれば、まずモニタの電源スイッチをオンにしてしばらくしてから、本製品の電源スイッチをオンにして下さい。モニタの電源より先に本製品の電源スイッチをオンにした場合、本製品がモニタの接続を正しく認識しない場合があります。その場合は、もう一度正しい手順で電源スイッチを入れ直してください。



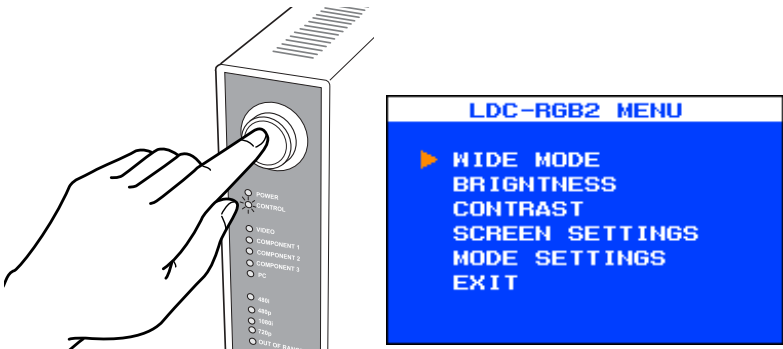
2.2 操作と設定について

2.2.1 セレクトボタン/ダイヤルの操作

出力される映像/音声に関する各種のモード設定は、モニタ上に表示されるOSDメニューから行います。メニューの表示や各種操作は、前面のセレクトボタン/ダイヤルを操作して行います。

ここではセレクトボタン/ダイヤルの基本的な3つの操作について説明します。

1. 長押しする(3秒以上)

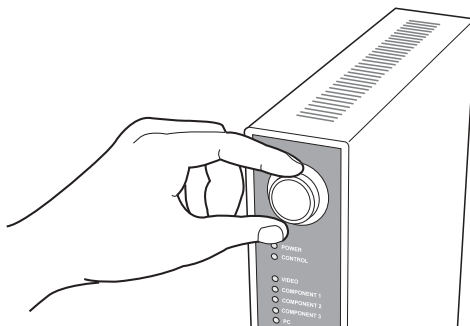


モニタ上にメニューが表示されていないときにセレクトボタン/ダイヤルを3秒以上長押しするとCONTROLランプが点灯しメインメニューが表示されます。

メニューが表示されているときにセレクトボタン/ダイヤルを3秒以上長押しすると、終了メニュー(EXIT)が現れます。ここでは、「EXIT AND SAVE」(設定を保存して終了)か「EXIT AND DISCARD」(設定を破棄して終了)を選択することができます。セレクトボタン/ダイヤルを回転させていずれかを選択し、セレクトボタン/ダイヤルを押すと選択内容を反映してメニューが終了します。

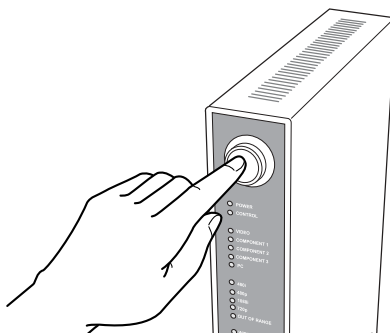
なお、ワイドモード(WIDE MODE)メニューでの設定項目は、「EXIT AND DISCARD」を選択した場合でも選択内容を反映してメニューが終了します。

2. 回転させる



メニューが表示されている時に、セレクトボタン/ダイヤルを回転させると、カーソルがメニュー内に表示されている項目間を移動します。また、BRIGHTNESS や CONTRAST などの調整項目を選択している場合は、パラメータの値を増減させます。モニタ上に何もメニューが表示されていない時にセレクトボタン/ダイヤルを回転させると、音量の調節を行います。

3. 押す (2 秒以下)

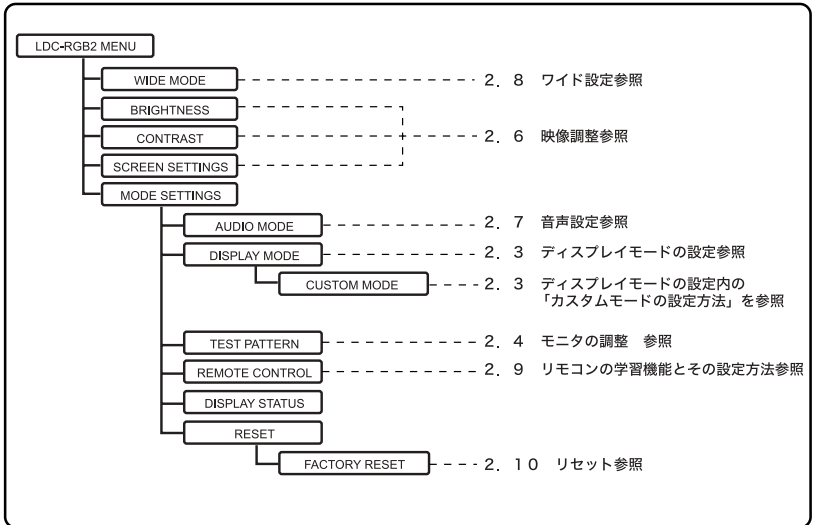


メニューが表示されているときに、セレクトボタン/ダイヤルを押すと、カーソルで選択している項目に切り替わります。また、BRIGHTNESS や CONTRAST 等パラメータによって値を設定する画面をを選択している場合は、一つ前のメニューに戻ります。メニューが表示されていないときは、「VIDEO」「COMPONENT 1」「COMPONENT 2」「COMPONENT 3」「PC」の順に入力信号を切り替えます。

2.2.2 メニュー構造

LDC-RGB2はセレクトボタンの長押しで、OSDメニューが表示され調整モードになります。OSDメニューの構造は以下のようになっています。

LDC-RGB2のメニュー構造



なお、各メニューでの設定方法は、この後の各節をご参照ください。

2 . 3 ディスプレイモードの設定

本製品にプラグアンドプレイ対応のモニタを接続した場合、本製品はそのモニタの特性を調べ、最適なディスプレイモードを自動的に設定します。(工場出荷時にはディスプレイモードはAUTO MODEに設定されています)しかし、プラグアンドプレイ非対応のモニタを接続した場合や、あるいはより高度な設定を行うために、ディスプレイモードを手動設定することもできます。ディスプレイモードの設定は次の手順で行います。

2

1. 前面のセレクトボタンを3秒以上長押しし、CONTROLランプが点灯したことを確認します。メインメニューが表示されます。



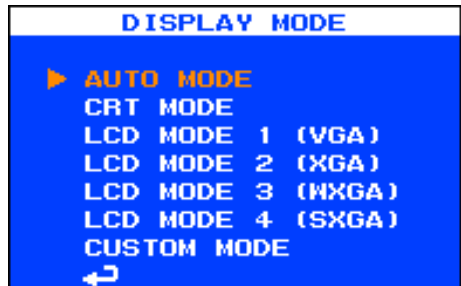
2. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面から MODE SETTINGS を選択し、セレクトボタンを押します。



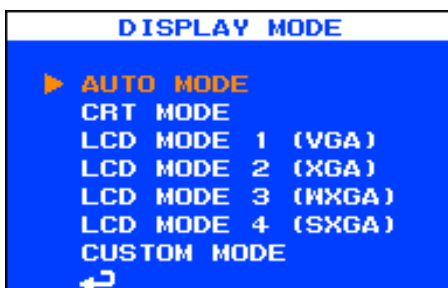
モード設定メニューが表示されます。



3. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面から DISPLAY MODE を選択し、セレクトボタンを押します。ディスプレイモードメニューが表示されます。



4. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、表示されているディスプレイモードから、目的のモードを選択し、セレクトボタンを押します。



モード一覧

	480i	480P	1080i	720P
AUTO	自動設定			
CRT MODE	自動設定	トランスコード		
LCD MODE 1	VGA固定 (640×480ドット)			
LCD MODE 2	XGA固定 (1024×768ドット)			
LCD MODE 3	WXGA固定 (1280×768ドット)			
LCD MODE 4	SXGA固定 (1280×1024ドット)			
CUSTOM MODE	ユーザー設定	ユーザー設定	ユーザー設定	ユーザー設定

5. もし、ディスプレイモードが切り替わった後に、画面に何も表示されない場合や、画面が流れてしまった場合には、何もせずにそのまま20秒以上放置してください。自動的に従来の設定に戻ります。

CRT MODE を選択した場合には、設定を終えて調整モードから抜けるまでは設定を反映しません。

- 設定を確定するには、セレクトボタン/ダイヤルを3秒以上長押しすると、終了メニュー（EXIT）が現れます。ここでは、「EXIT AND SAVE」（設定を保存して終了）か「EXIT AND DISCARD」（設定を破棄して終了）を選択することができます。セレクトボタン/ダイヤルを回転させていずれかを選択し、セレクトボタン/ダイヤルを押すと選択内容を反映してメニューが終了します。



もし誤って、固定画素モニタに対してCRT MODEを設定した場合には、入力切り換えてビデオ入力を選択し、その後、改めて適切なディスプレイモードを設定して下さい。

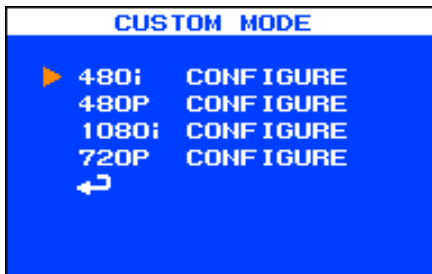
もし誤って、表示不可能な表示モードに設定してしまった場合には、ファクトリーリセットを行うことで本製品の設定を全てリセットし、ご購入時の状態に戻すことができます。但し、このリセットを行うと、すでに設定されている情報は全て失われますのでご注意ください。

ファクトリーリセットを行う方法については、「2 .1 0 リセット」を参照してください。

AUTO MODEを選択しているにも関わらず、モニタが表示できない解像度にセットされてしまう場合には、まずモニタケーブルを本製品に接続せずに本製品の電源スイッチを入れ、それからモニタを接続してください。その後、改めて接続しているモニタに適切なディスプレイモードを手動で設定して下さい。

カスタムモードの設定方法

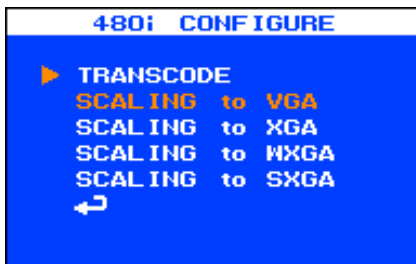
カスタムモードは、モニタの特性に合わせたより高度なチューニングを行うための手動設定モードです。入力されるビデオ信号の解像度に応じて、出力する解像度を個別に設定することができます。ここでは、ディスプレイモード設定時に CUSTOM MODE を選択した場合の各種設定について解説します。



カスタムモード一覧

480i CONFIGURE	480i 信号入力時の出力モード設定
480p CONFIGURE	480p 信号入力時の出力モード設定
1080i CONFIGURE	1080i 信号入力時の出力モード設定
720p CONFIGURE	720p 信号入力時の出力モード設定

それぞれの解像度の信号入力時に、どのような出力モードに設定するのかを個別に設定します。(次ページの表参照)



モード一覧

TRANSCODE	解像度変換をせず、カラーマトリックスのみ変換します (TRANSCODE モード)
SCALING to VGA	VGA (640 × 480 ドット) に変換します
SCALING to XGA	XGA (1024 × 768 ドット) に変換します
SCALING to WXGA	WXGA (1280 × 768 ドット) に変換します
SCALING to SXGA	SXGA (1280 × 1024 ドット) に変換します

出力モニタが固定画素モニタの場合は、TRANSCODEモードを設定しないでください。TRANSCODEモードでは、画面にメニューが表示されません。また、画質調整が一切行いません。

TRANSCODEモードを選択した場合には、設定を終えて調整モードから抜けるまでは設定を反映しません。

480i入力時にTRANSCODEモードを設定した場合でも、ビデオ入力(コンポジット入力およびSビデオ入力)は自動的にアップコンバートされます。

もし誤って、固定画素モニタに対してTRANSCODEモードを設定した場合には、入力切り換えでビデオ入力を選択し、その後、改めて適切なディスプレイモードを設定して下さい。もし誤って、表示不可能な表示モードに設定してしまった場合には、ファクトリーリセットを行うことで本製品の設定を全てリセットし、ご購入時の状態に戻すことができます。但し、このリセットを行うと、すでに設定されている情報は全て失われますのでご注意ください。

ファクトリーリセットを行う方法については、「2.10 リセット」を参照してください。

2 . 4 モニタの調整

ディスプレイモードが正しく設定されていればそのままでもご使用になれますが、より最適な画質や表示設定を得るために、テストパターンを表示してモニタの調整を行うことをお勧めします。モニタの調整は次の手順で行います。



ご注意

ディスプレイモードでCRT MODEまたはCUSTOM MODEを選択した場合には、トランスコーダ動作時にテストパターンを表示できませんのでご注意ください。また、PC入力が選択されている場合も調整モードに入ることができません。

1. 前面のセレクトボタンを3秒以上長押しし、CONTROLランプが点灯したことを確認します。

メインメニューが表示されます。



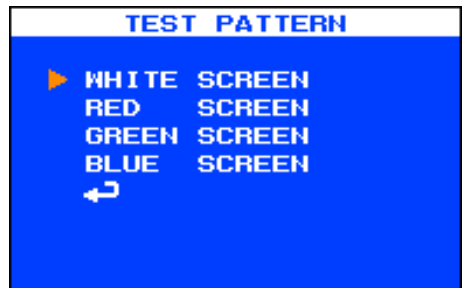
2. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面から MODE SETTINGS を選択し、セレクトボタンを押します。モード設定メニューが表示されます。



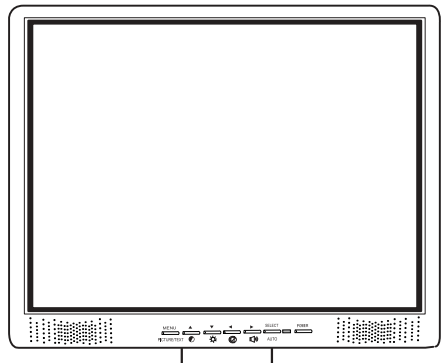
3. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面から TEST PATTERN を選択し、セレクトボタンを押します。テストパターンメニューが表示されます。



4. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、表示されているパターンリストから、WHITE SCREEN を選択し、セレクトボタンを押します。



5. モニタに自動調整ボタン(モニタによって名称は変わります)がある場合には、そのボタンを押して下さい。モニタが入力信号を自動検出し、最適な調整を行うことができます。(詳しくは各モニタに付属の取扱説明書をご覧ください)自動調整ボタンがないモニタの場合は、下図のように白いウィンドウが画面いっばいに広がり、かつ周辺部の黒い部分の幅が一定になるように、モニタを調整してみてください。



なお、画面上に縦の縞模様が確認できる場合には、本製品の出力ドットクロックとモニタのサンプリングクロックが一致しておらず、画質に影響を及ぼす場合があります。そのような場合には、モニタのドットクロックを加減し、縦縞模様の本数が最も少なくなるように調整します。(モニタのドットクロック調整方法については、お手持ちのモニタの取扱説明書を参照して下さい) 縦縞模様の本数が最小になる、もしくは縦縞が消えるポイントが最適値になります。

6. テストパターンを終了するには、セレクトボタンを(2秒間以下)押します。
7. 調整モードを終えるには、セレクトボタン/ダイヤルを3秒以上長押しすると、終了メニュー(EXIT)が現れます。ここでは、「EXIT AND SAVE」(設定を保存して終了)か「EXIT AND DISCARD」(設定を破棄して終了)を選択することができます。セレクトボタン/ダイヤルを回転させていずれかを選択し、セレクトボタン/ダイヤルを押すと選択内容を反映してメニューが終了します。

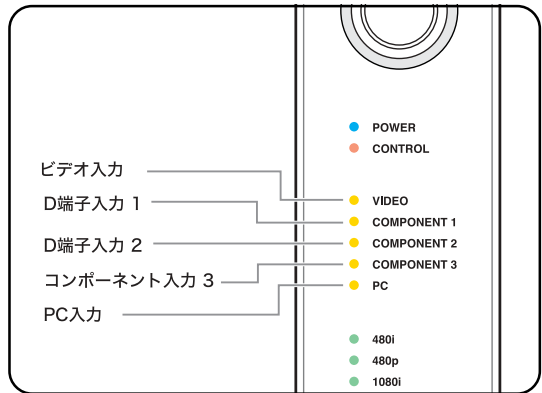
2.5 入力の切り替え

入力の切り替えは、前面のセレクトボタンを（2秒間以下）押すことで行います。但し、前面のCONTROLランプが点灯している（調整モードになっている）場合には、入力切り替えはできません。メニューからEXITを選択してセレクトボタンを押すか、セレクトボタンを3秒以上長押しして、CONTROLランプが消灯したことを確認してから、改めて操作してください。

入力は次の順序で切り替わります。

- ・ ビデオ入力（VIDEO または S-VIDEO）
- ・ D端子入力1（COMPONENT 1）
- ・ D端子入力2（COMPONENT 2）
- ・ コンポーネント入力3（COMPONENT 3）
- ・ PC入力（PC）

本製品の前面にあるVIDEO/COMPONENT 1/COMPONENT 2/COMPONENT 3/PCの各ランプが、実際に選択されている入力端子を示しています。



なお、ビデオ入力時にコンポジットビデオ入力（VIDEO）が選ばれるか、Sビデオ入力（S-VIDEO）が選ばれるかは、Sビデオ入力端子にケーブルが接続されているかどうかで決定されます。（信号入力の有無には関係ありません）Sビデオ入力端子にケーブルが接続されていればSビデオ入力、接続されていなければコンポジットビデオ入力を選択される仕組みになっています。

入力の切り替え時には、映像信号の切り替えに連動して音声信号も切り替わります。但し、AUDIO MODE が MIX に設定されている場合には、全ての音声入力 が合成された状態で出力されます。

また、本製品では入力の切り替え情報は電源を切った状態でも保持されます。本製品に再び電源が入ると、最後に選択されていた入力に自動的に切り替わります。

480i 入力時に TRANSCODE モードを設定した場合でも、ビデオ入力（コンポジット入力および S ビデオ入力）は自動的にアップコンバートされます。

2.6 映像調整

本製品では、接続したモニタの調整とは別に、入力端子ごとの映像調整を行う機能を持っています。これらの調整結果は入力端子ごと、および入力信号モードごとに記録されますので、接続した機器に合わせた調整を保持することができません。但し、本調整機能が適応されるのは、ビデオ入力（コンポジットビデオまたはSビデオ）とコンポーネントビデオ入力（D端子入力を含む）に限定されており、PC入力には影響しません。また、TRANSCODEモードでは、画質調整が一切行えません。

なお、画質調整は現在選択している入力端子に対して実施されます。他の入力端子の調整を行う場合には、一度調整モードを抜けて、入力を切り替えてから改めて調整モードに入る必要があります。

調整項目は全部で6つあります。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ・明るさ（BRIGHTNESS） | ・コントラスト（CONTRAST） |
| ・カラー（COLOR） | ・シャープネス（SHARPNESS） |
| ・水平位置（H-POSITION） | ・垂直位置（V-POSITION） |

このうち、明るさ（BRIGHTNESS）とコントラスト（CONTRAST）の2項目は、前面のセレクトボタンを3秒以上長押しし、CONTROLランプが点灯している状況（調整モード）で、メインメニューから各項目を選択して設定します。



それ以外の4項目は、メインメニューの中にあるスクリーン設定 (SCREEN SETTINGS) を選び、スクリーン設定メニューの中から各項目を選択して設定します。

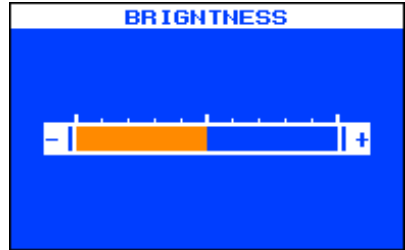
2



明るさ (BRIGHTNESS)

画面の明るさ (オフセット) を調整します。セレクトボタン / ダイアルを右に回すとより明るく、左に回すとより暗くなります。

但し、モニタ出力は規定されているビデオ信号の規格内に制限されますので、その範囲を超えた暗さや明るさはクリッピング (飽和) されます。



コントラスト (CONTRAST)

画面のコントラスト (ゲイン) を調整します。セレクトボタン / ダイアルを右に回すとコントラストが強く、左に回すと弱くなります。

但し、モニタ出力は規定されているビデオ信号の規格内に制限されますので、その範囲を超えた暗さや明るさはクリッピング (飽和) されます。

カラー (COLOR)

画面の色の濃さ (COLOR) を調整します。セレクトボタン / ダイアルを右に回すと色が濃く、左に回すと薄くなります。

シャープネス (SHARPNESS)

画面の輪郭強調レベル (シャープネス) を調整します。セレクトボタン / ダイアルを右に回すと輪郭強調が強く、左に回すと弱くなります。

水平位置 (H-POSITION)

画面の水平表示位置を調整します。セレクトボタン / ダイアルを右に回すと映像が右に移動し、左に回すと左に移動します。

なお、本機能は入力信号のどの部分を表示するかを調整するもので、モニタ上の表示位置を調整するものではありません。モニタ上の表示位置の調整に関しては、モニタの調整機能をご利用下さい。また、表示モードや入力信号の種類によって、実際の調整範囲は異なります。

垂直位置 (V-POSITION)

画面の垂直表示位置を調整します。セレクトボタン/ダイヤルを右に回すと映像が下に移動し、左に回すと上に移動します。

なお、本機能は入力信号のどの部分を表示するかを調整するもので、モニタ上の表示位置を調整するものではありません。モニタ上の表示位置の調整に関しては、モニタの調整機能をご利用下さい。また、表示モードや入力信号の種類によって、実際の調整範囲は異なります。

調整モードを終えるには、セレクトボタン/ダイヤルを3秒以上長押しすると、終了メニュー (EXIT) が現れます。ここでは、「EXIT AND SAVE」(設定を保存して終了) か「EXIT AND DISCARD」(設定を破棄して終了) を選択することができます。セレクトボタン/ダイヤルを回転させていずれかを選択し、セレクトボタン/ダイヤルを押すと選択内容を反映してメニューが終了します。

2.7 音声設定

本製品の音声切り替えには2種類の設定が可能です。1つは映像入力の切り替えに伴って音声入力も切り替えるSELECTモード、もう1つは全ての音声入力を合成して出力するMIXモードです。この2つのモードの切り替えは、調整モードのAUDIO MODEから設定します。

1. 前面のセレクトボタンを3秒以上長押しし、CONTROLランプが点灯したことを確認します。
メインメニューが表示されます。



2. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面からMODE SETTINGSを選択し、セレクトボタンを押します。モード設定メニューが表示されます。



3. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面から AUDIO MODE を選択し、セレクトボタンを押します。オーディオモードメニューが表示されます。



4. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、SELECT または MIX を選択し、セレクトボタンを押します。



5. 設定を確定するには、セレクトボタン/ダイヤルを3秒以上長押しすると、終了メニュー (EXIT) が現れます。ここでは、「EXIT AND SAVE」(設定を保存して終了)か「EXIT AND DISCARD」(設定を破棄して終了)を選択することができます。セレクトボタン/ダイヤルを回転させていずれかを選択し、セレクトボタン/ダイヤルを押すと選択内容を反映してメニューが終了します。

いずれの入力モードでも、その音声レベルの調整を個別に行うことはできません。必要に応じて、それぞれの機器の出力レベルを調整してください。

本製品の音声出力端子2 (AUDIO OUT) はレベル固定 (ゲイン 1) ですが、音声出力端子1 (PHONE) の出力レベルは、前面のセレクトボタン/ダイヤルで調整することができます。CONTROL ランプが消灯している状態で、セレクトボタン/ダイヤルを右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

2 . 8 ワイド設定

本製品の表示出力はワイドモードを切り替えることができますが、その表示モードは接続されているモニタの種類によって変わります。

1. 前面のセレクトボタンを3秒以上長押しし、CONTROLランプが点灯したことを確認します。メインメニューが表示されます。



2. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面から WIDE MODE を選択し、セレクトボタンを押します。ワイドモードメニューが表示されます。



3. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、目的の表示モードを選択し、セレクトボタンを押します。
4. 設定を確定するには、セレクトボタン/ダイヤルを3秒以上長押しすると、終了メニュー (EXIT) が現れます。ここでは、「EXIT AND SAVE」(設定を保存して終了) か「EXIT AND DISCARD」(設定を破棄して終了) を選択することができます。セレクトボタン/ダイヤルを回転させていずれかを選択し、セレクトボタン/ダイヤルを押すと選択内容を反映してメニューが終了します。

なお、ワイドモード (WIDE MODE) メニューでの設定項目は、「EXIT AND DISCARD」を選択した場合でも選択内容を反映してメニューが終了します。

ディスプレイモードがVGA、XGA、SXGAの場合、次の4つのモードを選ぶことができます。

AUTO	入力信号を自動的に判定し、入力信号が4:3ソースであると判断した場合には自動的にNORMALモードに、入力信号が16:9 (ワイド) ソースであると判断した場合には自動的にWIDEモードに切り替えます。但し、入力信号の種類によってはワイドモードを正しく検出できない場合があります。その場合は以下のモードに手動で切り替えてご使用下さい。
NORMAL	入力信号を画面いっぱいに表示されるように調整して表示します。4:3 (ノーマル) のソースを表示するのに最適のモードです。
WIDE	入力信号の横幅に合わせ、縦方向を圧縮して表示します。16:9 (ワイド) ソースを表示するのに最適のモードです。
ZOOM	画面の上下幅を合わせるようにして表示します。画面の左右が切り取られ、表示できない部分ができます。ただし、入力信号が480i、720pの場合は本モードは選ばれません。

一方、ディスプレイモードがWXGAの場合、次の5つのモードを選ぶことができます。

AUTO	入力信号を自動的に判定し、入力信号が4:3ソースであると判断した場合には自動的にNORMALモードに、入力信号が16:9 (ワイド) ソースであると判断した場合には自動的にWIDEモードに切り替えます。但し、入力信号の種類によってはワイドモードを正しく検出できない場合があります。その場合は以下のモードに手動で切り替えてご使用下さい。
NORMAL	画面の上下幅を合わせるようにして表示します。画面の左右に非表示エリア (黒い部分) ができます。4:3 (ノーマル) のソースを表示するのに最適のモードです。
WIDE	画面のアスペクト比を無視して、画面の上下左右を合わせるようにして表示します。16:9 (ワイド) ソースを表示するのに最適のモードです。本モードで4:3 (ノーマル) ソースを表示した場合には横に伸ばしたような表示になります。
ZOOM	画面の左右幅を合わせるようにして表示します。画面の上下が切り取られ、表示できない部分ができます。4:3 (レターボックス) ソースを表示するのに最適のモードです。
CINEMA	画面の左右幅と下部を合わせるようにして表示します。画面の上部が切り取られ、表示できない部分ができます。映画など字幕がボックス領域の下に表示されるケースに有効なモードです。画面は若干ですが横に伸ばした表示になります。

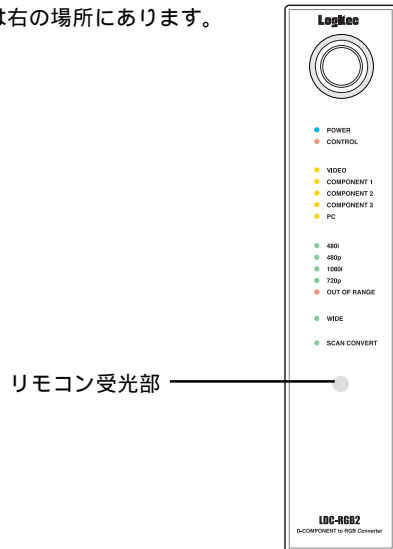
ディスプレイモードについては「2.3 ディスプレイモードの設定」をご参照ください。

2.9 リモコン学習機能とその設定方法

本製品にはリモコンは付属していませんが、本体内部に学習機能付きのリモコン受光部が内蔵されており、お手持ちのリモコンを使って一部の操作が可能です。リモコンを使って操作できるのは、次の機能です。

POWER	電源オン/オフ
CONTROL	調整モードへの移行/調整モードの終了
SELECT	セレクトボタンを押す
>	ダイヤルを右に回す
<	ダイヤルを左に回す
WIDE	ワイド設定切り替え

なお、本製品のリモコン受光部は右の場所にあります。



学習方法の詳細については次ページをご参照ください。

各機能に対するリモコン操作の学習は次の手順で行います。

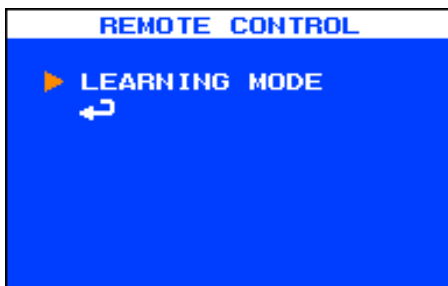
1. 前面のセレクトボタンを3秒以上長押しし、CONTROLランプが点灯したことを確認します。
2. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面から MODE SETTINGS を選択し、セレクトボタンを押します。



3. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面から REMOTE CONTROL を選択し、セレクトボタンを押します。



4. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面から LEARNING MODE を選択し、セレクトボタンを押します。



5. LERNING MODE のメニューに切り替わります。セレクトボタン / ダイアルを回転させ、目的の機能 (キー) を選択し、セレクトボタンを押します。



6. たとえば「POWER」ボタンを学習させる場合は、「POWER BUTTON」を選んでセレクトボタンを押します。
「PUSH POWER BUTTON」の文字が出たら、その機能に対応させたいリモコンのキーを押します。このとき、リモコンの送信部が本製品の前面パネル正面に向くように操作してください。
7. 再び「PUSH POWER BUTTON」の文字が出たら、もう一度同じキーを押してください。LERNING MODE メニューに戻れば、そのキーは学習成功です。
8. 同じ手順で、必要な機能に対してリモコンの他のキーを学習させます。
9. 学習が完了したら、設定を確定するには、セレクトボタン / ダイアルを3秒以上長押しすると、終了メニュー (EXIT) が現れます。ここでは、「EXIT AND SAVE」(設定を保存して終了) か「EXIT AND DISCARD」を選択することができます。セレクトボタン / ダイアルを回転させていずれかを選択し、セレクトボタン / ダイアルを押すと選択内容を反映してメニューが終了します。



ご注意

国産AV機器のリモコンではほとんど問題ありませんが、一部のリモコンには、そのコマンドが本製品で学習できない仕様のものがあります。何度試してもうまく行かない場合には、別のリモコンで試してみてください。

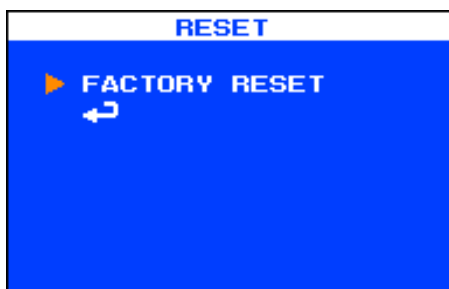
2 . 1 0 リセット

・ファクトリーリセット

調整時のトラブルなどで元に戻せなくなった場合には、本製品の設定を全てリセットし、ご購入時の状態に戻すことができます。但し、このリセットを行うと、すでに設定されている情報は全て失われますのでご注意ください。

メニュー画面が表示できる場合

1. 前面のセレクトボタンを3秒以上長押しし、CONTROLランプが点灯したことを確認します。
2. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面からMODE SETTINGSを選択し、セレクトボタンを押します。
3. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、メニュー画面からRESETを選択し、セレクトボタンを押します。
4. セレクトボタン/ダイヤルを回転させ、FACTORY RESETを選択し、セレクトボタンを押します。



5. 画面表示が消え、しばらく待つと電源投入時の状態に戻ります。

各設定は購入時の状態に戻りますので、必要な設定を行ってください。

何も表示できない場合

もし、調整時のトラブルなどでモニタに何も表示できなくなってしまった場合には、本製品の設定を全てリセットし、購入時の状態に戻すことができます。但し、このリセットを行うと、すでに設定されている情報は全て失われますのでご注意ください。

1. 本製品の電源スイッチを切り、接続されているケーブル類を全て取り外して下さい。
2. 次に本製品背面の電源コネクタに、付属のACアダプタのプラグを接続します。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続して下さい。
3. フロントパネルのセレクトボタンを押し込んだままで、リアパネルの電源スイッチをオンにします。
4. 数秒待って電源ランプが点灯したら、ボタンを離してリアパネルの電源スイッチをオフにします。
5. ファクトリーリセットは完了です。ケーブル類を接続してご使用になれます。

第3章 補足事項

3.1 トラブルシューティング

Q モニタに何も表示されません。

A 本製品の「POWER」ランプ（ブルー）は点灯していますか？
点灯していない場合は、電源スイッチが入っているか、ACアダプタが接続されているか、確認してください。

POWERランプが点灯しているのにモニタに何も表示されない場合には、セレクトボタンを3秒以上押し、CONTROLランプが点灯したことを確認します。この時、画面上にメニュー画面が表示されていない場合には、モニタと本製品が正しく接続されているか、モニタの電源が入っているか、確認してください。

画面上にメニュー画面が表示されている場合には、モニタと本製品の接続は問題ありません。入力した信号をセレクトボタンで選択しているか、入力機器と本製品が正しく接続されているか、入力機器の電源が入っているか、入力機器からは正常に映像信号が出力されているか、確認してください。

どうしても改善されない場合には、ファクトリーリセットをお試し下さい。ファクトリーリセットを行うことで本製品の設定を全てリセットし、ご購入時の状態に戻すことができます。但し、このリセットを行うと、すでに設定されている情報は全て失われますのでご注意ください。ファクトリーリセットを行う方法については、「2.10 リセット」を参照してください。

Q セレクトボタンを押しても、メニューが表示されません。

A 本製品の「SCAN CONVERT」ランプが緑色に点灯していますか？
「SCAN CONVERT」ランプがオレンジ色に点灯している場合はTRANSCODEモード、緑色に点灯している場合はスケーラモードです。このうちメニューが表示できるのはスケーラモードのみで、TRANSCODEモードでは調整モードに入ることができません。

また、PC入力を選択されている場合も調整モードに入ることができません。

Q VIDEO入力を選んで、「VIDEO」入力端子に接続した機器の映像が表示されません。

A 本製品の「VIDEO」入力端子と「S-VIDEO」入力端子に同時にケーブルを接続している場合、入力信号の有無に関わらず常に「S-VIDEO」入力端子が優先されます。従って「VIDEO」入力端子に接続した機器からの入力を表示するには、「S-VIDEO」入力端子に接続したSビデオケーブルを外す必要があります。

Q 入力機器から信号を入れたのですが、「OUT OF RANGE」ランプが点灯してモニタに表示が出ません。

A 本製品は入力信号が正しく検出できない場合、または表示不可能な信号が入力された場合に「OUT OF RANGE」ランプが点灯します。入力機器と本製品が正しく接続されているか、入力機器の電源が入っているか、確認してください。また、本製品は1080p(1125p)には対応しておりませんので、接続されている機器のコンポーネント出力設定がD5(または、1080p)になっていないか、お確かめ下さい。コンポーネント出力設定の詳細に関しては、ご使用の機器の説明書をご参照下さい。

Q RGB入力端子にパソコンを接続していますが、モニタに表示が出ません。

A ケーブル類が正しく接続されているか、本製品の電源が入っているか、RGB入力をセレクトボタンで選択しているか、前面のRGBランプが点灯しているか、を確認して下さい。また、パソコンから表示信号が正しく出力されているか、モニタのRGBケーブルをパソコンに直結して確認してみてください。

Q ワイドコンテンツを表示しているにも関わらず、前面のWIDEランプが点灯しません。

A WIDEランプは次のいずれかの条件下では、映像ソースがワイド信号であっても点灯しません。

- ・ ビデオ入力またはSビデオ入力で、ID-1信号が検出されない場合。
- ・ D端子以外の接続方法でコンポーネント信号が入力されていて、ID-1信号が検出されない場合。
- ・ DVDプレーヤなどで4:3パンスキャンあるいは4:3レターボックス表示が選択されている場合。
- ・ コンポーネント入力で、ワイド情報が出力されていない場合。
- ・ RGB入力を表示している場合。

Q 調整モードで調整した結果が保存されません。

A 調整モードで調整した結果は、次の方法で調整モードから抜けた場合にのみ保存されます。

- ・ EXIT メニューまで戻り、「SAVE AND EXIT」を選択した場合
- ・ 調整モードから、セレクトボタンを3秒以上押し、EXITメニューから「SAVE AND EXIT」を選んで調整モードから抜けた場合

なお、調整モードで無操作の状態が約15秒以上続くと自動的にメニューを戻っていきませんが、そのまま調整モードから抜けた場合、調整モードでの調整結果は破棄され、調整前の状態に戻ります。

また、次の調整項目は、各入力端子ごと、また各入力信号種別ごとに設定が保存され、他の入力端子や入力信号種別の信号には調整結果が影響しません。

- ・ 明るさ (BRIGHTNESS)
- ・ コントラスト (CONTRAST)
- ・ カラー (COLOR)
- ・ シャープネス (SHARPNESS)
- ・ 水平位置 (H-POSITION)
- ・ 垂直位置 (V-POSITION)

Q セレクトボタンで選んだ入力端子の音声に、他の入力端子の音声が混じってしまいます。

A オーディオモードがミックスモードになっている可能性があります。調整モードの「MODE SETTING」から「AUDIO」を選び「SELECT」を選んで保存することで、選んだ入力端子のみの音声に切り替えることができます。

Q セレクトボタンを回して「VOLUME」を調整しても、音量が変わりません。

A 「RGB OUTPUT」端子の音声出力端子 (L,R) は音量固定出力になっており、音量調整はヘッドフォン用出力端子 (PHONE) にのみ有効です。

Q 登録したリモコンボタンが登録した内容通りに動作しない。

A 同じボタンに対して、別々の機能を同時に登録していませんか？

Q 電源を切ったり、コンセントを抜いたりしても、最後に選択した入力
が選ばれますが。

A 本製品では、内蔵するフラッシュメモリがセレクトボタンの状態を記憶していますので、次回電源オン時には必ず同じ入力を選択されるようになっています。

Q 画質の調整はどうすればいいのでしょうか。

A 本製品では、スケーラモードにおいて次の6項目を調整できます。

- ・ 明るさ (BRIGHTNESS)
- ・ コントラスト (CONTRAST)
- ・ カラー (COLOR)
- ・ シャープネス (SHARPNESS)
- ・ 水平位置 (H-POSITION)
- ・ 垂直位置 (V-POSITION)

トランスコードモードおよびPC入力時には、画質の調整はできません。

Q 画面が歪んで表示されます。

A 画像の歪みや傾きなどの調整には、接続したモニタの調整機能をご使用下さい。
調整の詳細に関しては、ご使用のモニタの説明書をご参照下さい。

3.2 用語解説

CRT モニタ

一般的にブラウン管を用いて表示を行うタイプのモニタをCRT (Cathode Ray Tube) モニタと呼びます。

CRTモニタは、液晶モニタなどに比べて視野角によって色調やコントラストが変化することなく輝度、彩度、反応速度などで勝るといった特徴があります。

また、マルチスキャンタイプのCRTモニタは、さまざまな周波数の信号に対する追従性に優れ、ハイビジョンなどのインターレース表示を正しく表示できることや、表示サイズや表示位置の調整が可能な点も大きな長所です。

反面、サイズが大きく重い、エネルギー効率が液晶モニタなど他方式に比べて悪い、などのデメリットもあります。

【関連語：固定画素モニタ】

3

D 端子

D端子は日本電子機械工業会 (EIAJ) で定められた民生用コンポーネント信号端子で、1999年頃からAV製品を中心に採用が開始されました。

もともとは2000年から始まったBSデジタル放送対応受信機であるBSデジタルチューナーとテレビとの接続を目的に開発されたもので、Y/Pb/Prのコンポーネントビデオ信号を複合ケーブル1本で接続することができるのが最大の特徴です。

現在では、BS/110 Sデジタルチューナーをはじめ、DVDプレーヤーや家庭用ゲーム機、一部のビデオデッキなどにも採用されています。

機能は以下のように分類されます。

D1 : 480i (525i)

D2 : 480i (525i) 480p (525p)

D3 : 480i (525i) 480p (525p) 1080i (1125i)

D4 : 480i (525i) 480p (525p) 1080i (1125i) 720p (750p)

D5 : 480i (525i) 480p (525p) 1080i (1125i) 720p (750p) 1080P (1125p)

iはインターレース、pはプログレッシブであることを意味します。

480i (525i)

525本の走査線を使ってインターレース表示を行うモードで、D1対応のテレビで表示できます。

インターレース表示のためにちらつきが発生します。

なお、主なコンピュータ用モニタはこの周波数には対応していません。

480p (525p)

525本の走査線を使ってプログレッシブ(ノンインターレース)表示を行うモードで、D2対応のテレビで表示できます。

インターレース表示と異なり、ちらつきが少なく解像感の高い映像が特徴です。

プログレッシブ対応のAV機器やプログレッシブ対応のゲーム機などのプログレッシブモードでは、このモードが使われます。

本製品はこのモードをサポートしています。

1080i (1125i)

1125本の走査線を使ってインターレース表示を行うモードで、一般的にハイビジョンと呼ばれ、D3対応のテレビで表示できます。

ハイビジョン対応のAV機器やハイビジョン対応のゲーム機などのハイビジョンモードでは、このモードが使われます。

本製品はこのモードをサポートしています。

720p (750p)

750本の走査線を使ってプログレッシブ(ノンインターレース)表示を行うモードで、デジタルハイビジョンで拡張されたモードの1つです。

D4対応のテレビで表示できます。

将来のハイビジョン機器で採用が検討されています。

本製品はこのモードをサポートしています。

1080p (1125p)

1125本の走査線を使ってプログレッシブ(ノンインターレース)表示を行う、デジタルハイビジョンで拡張されたモードの1つです。

現在市販されているテレビでは表示できません。

将来のハイビジョン機器に向けて研究が進められています。

本製品はこのモードをサポートしていません。

アスペクト比

画面の横と縦の比率を言います。通常のテレビやモニタでは4:3ですが、ハイビジョンテレビは16:9です。パソコン用のモニタの中には、16:10や3:2、5:4といった変則的なアスペクト比のものもあります。本製品では、D端子入力からの信号が「16:9」のワイド放送であることを検出すると、前面の「WIDE」ランプが点灯します。

アップコンバート

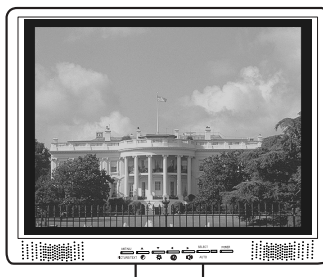
より低い解像度の入力信号を、それよりも高い解像度の信号に変換することをアップコンバートと呼びます。例えばLDC-RGB2の場合、480iのビデオ信号はVGA以上の解像度にアップコンバートが可能です。【反意語：ダウンコンバート】

3

アンダースキャン

モニタやテレビなどにおいて、表示エリアの外にはみでずに、内側の範囲に表示することをアンダースキャンと言います。そのため、画像は表示エリアの内側に表示されます。通常パソコンに使用されるCRTモニタはアンダースキャンですが、調整によってオーバースキャンにすることも可能です。

【反意語：オーバースキャン】



インターレース

インターレースは飛び越し走査とも呼ばれ、映像を構成する走査線を1本ずつ飛び越した2枚の映像を交互に表示することで、1枚の映像を作る方式です。

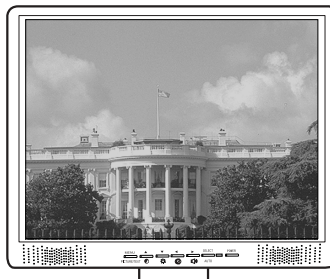
現在の地上波アナログ放送などに採用されており、周波数帯域を節約できるというメリットがある反面、画面にちらつきが発生し、それによって見かけ上の垂直解像度が低下するなどの弊害があります。

【反意語：プログレッシブ】

オーバースキャン

モニタやテレビなどにおいて、表示エリアの周囲を含めた範囲まで拡大表示することをオーバースキャンと言います。そのため、画像は表示エリアの外側にはみでてしまい見えない部分ができます。一般的なテレビは全てオーバースキャンです。

【反意語：アンダースキャン】



固定画素モニタ

CRTモニタや三管式プロジェクタのようなアナログスキャン方式のモニタに対して、液晶モニタやDLP方式プロジェクタ、プラズマテレビなどのように画素数が決まっている表示デバイスを、固定画素モニタと呼びます。固定画素モニタに対して、その解像度と異なる信号を表示させるためには、解像度変換（スキャンコンバート）を行う必要があります。LDC-RGB2はこのような固定画素モニタに各種映像信号を表示するために、解像度変換（スキャンコンバート）機能を備えています。

【関連語：CRTモニタ】

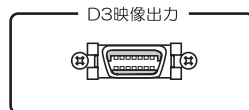
コンポーネント信号（Y/P_B/P_R）

コンポーネント信号は色差信号とも言われ、色信号（C）をB-Y 色差信号（C_B または P_B）とR-Y 色差信号（C_R または P_R）に分けて伝送しています。

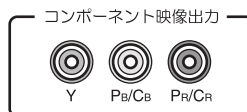
通常のテレビ（480i）レベルの信号のコンポーネント信号を[Y/C_B/C_R]、それ以上の映像フォーマットが使用できる端子を[Y/P_B/P_R]と表示します。

コンポーネント信号は通常のビデオ信号に比べて、色ニジミ、色ムラなどのノイズが少なく、解像度が高く高品質な信号を伝送できます。

D端子はこのような高画質・高品質なコンポーネント信号をケーブル1本で伝送できる端子です。



BS/110 S デジタルハイビジョンが開始される前の一部のハイビジョン機器や海外製の機器の中には、D端子ではなくRCAタイプの端子を持ったものがあります。



シネスコサイズ

コンテンツ画面のアスペクト比が1 : 2.35になっているものをシネスコサイズと呼びます。ピスタサイズよりも横長になります。一般的な映画はこのサイズで制作されています。

スキャンコンバート

LDC-RGB2では、入力信号を出力モニタに適切な解像度に作り替える解像度の変換機能を備えています。このように解像度を変換することをスキャンコンバート、またはスケーリングと呼び、その機能自体をスケーラと呼びます。また、高い解像度を低い解像度に変換するダウンコンバートや、低い解像度を高い解像度に変換するアップコンバートは、スキャンコンバートの一種です。なお、本マニュアルでは、解像度変換を伴う処理をスケーラモードと呼びます。【関連語：トランスコード】

3

ダウンコンバート

より高い解像度の入力信号を、それよりも低い解像度の信号に変換することをダウンコンバートと呼びます。例えばLDC-RGB2の場合、1080iのハイビジョン信号はSXGA以下の解像度にダウンコンバートが可能です。【反意語：アップコンバート】

トランスコード

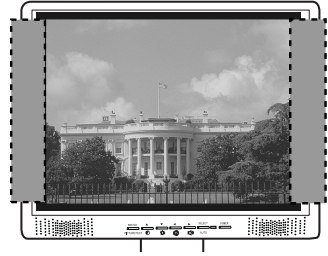
スキャンコンバートが解像度変換を伴う処理を行うのに対して、トランスコードは色空間のみを変換し、解像度は変換しません。トランスコードでは、A/D変換・D/A変換に伴う階調ロスや、解像度変換に伴うデータ損失がないため、スキャンコンバートに比べると情報量は豊かになります。しかし、入力された信号に接続されたモニタが追従できない場合には、うまく表示ができなかったり、何も映らない場合もあります。なお、本マニュアルでは、解像度変換を伴わない色空間処理をトランスコードモードと呼びます。【関連語：スキャンコンバート】

ハイビジョン

ハイビジョンは次世代テレビとしてNHKで開発された技術で、高解像度・高画質・迫力のあるワイド映像・臨場感あるデジタル音声が特徴で、国際的にはHDTV (High Definition Television) の一部です。当初はMUSEと呼ばれる圧縮技術を使ったアナログハイビジョン方式でしたが、2000年12月からはMPEG2圧縮方式によるデジタルハイビジョンがBSデジタル放送で開始されています。

パンスキャン

パンスキャンとは、通常の4:3のアスペクト比のモニターでシネスコサイズやビスタサイズなどのワイド映像を表示する際に、縦サイズに合わせて横サイズを拡大し、両側にはみ出した部分(右図の破線の部分)はカットして表示する方式です。DVDプレーヤーによってはパン(スクロール)することができる機種もあります。



ビスタサイズ

コンテンツ画面のアスペクト比が1:1.85になっているものをビスタサイズと呼びます。字幕が画面内にある映画の多くはこのサイズで制作されています。16:9のワイド画面に近い比率になっています。

プログレッシブ(ノンインターレース)

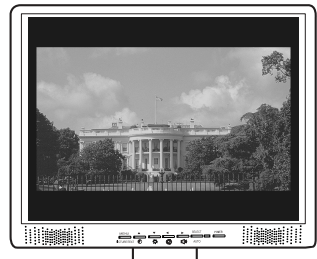
インターレースのように走査線を飛び越さず、完全な映像を1度に1枚ずつ表示する方式です。

パソコンなどの表示にはこの方式が採用されており、ちらつきが少なく解像感の高い表示が得られるのが特徴です。

【反意語：インターレース】

レターボックス

レターボックスとは、通常の4:3のアスペクト比のモニターでシネスコサイズやビスタサイズなどのワイド映像を表示する際に、横サイズに合わせて縦サイズを圧縮し、上下の隙間を黒帯で埋めて表示する方式です。



3.3 D端子コンポーネントの各フォーマット

	480i (525i)	480p (525p)	1080i (1125i)	720p (750p)	1080p (1125p)
走査線数	525本	525本	1125本	750本	1125本
解像度	640 × 480 程度 (1)	640 × 480 程度	1920 × 1080 (1)	1280 × 720	1920 × 1080
走査方式	インター レース	プログレッシブ	インター レース	プログレッシブ	プログレッシブ
アスペクト比	4 : 3	4 : 3	16 : 9	16 : 9	16 : 9
垂直同期周波数	59.94Hz	59.94Hz	59.94Hz	59.94Hz	59.94Hz
水平同期周波数	15.75KHz	31.5KHz	33.75KHz	45KHz	67.5KHz
D1		x	x	x	x
D2			x	x	x
D3				x	x
D4					x
D5					

1 : インターレース表示によるちらつきのため、垂直解像度は数値より低く見えます。

ハードウェア仕様

機種名		LDC-RGB2	
入力信号 コネクタ形状	VIDEO/ S- VIDEO	ビデオ入力	ピンジャック × 1
		S ビデオ入力	ミニ DIN4 ピン × 1
		音声入力	ピンジャック × 2
	COMPONENT- 1	D 端子入力	D4端子 × 1
		音声入力	ピンジャック × 2
	COMPONENT- 2	D 端子入力	D4端子 × 1
		音声入力	ピンジャック × 2
	COMPONENT- 3	コンポーネント入力	ピンジャック × 3
		音声入力	ピンジャック × 2
	PC	アナログRGB入力	ミニ D- SUB15ピン × 1
音声入力		3.5mmステレオミニジャック × 1	
出力信号 コネクタ形状	RGB OUT	アナログRGB出力	ミニ D- SUB15ピン × 1
		音声出力 1	3.5mmステレオミニジャック × 1
		音声出力 2	ピンジャック × 2
出力解像度	VGA時		640 × 480ドット
	XGA時		1024 × 768ドット
	WXGA時		1280 × 768ドット
	SXGA時		1280 × 1024ドット
	トランスコード時		入力信号のまま
	PC入力選択時		入力信号のまま
環境条件	1 動作時	温度	5 ~ 35
		相対湿度	10% ~ 80%
	保管時	温度	0 ~ 40
		相対湿度	10% ~ 90%
入力電圧		D C +12V ± 5%	
消費電流		約 1 A	
消費電力		約11W	
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)		50 × 270 × 215 mm	
質量		約1.8kg	
設置方向		縦置きのみ	

1 ただし結露なきこと

保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。
故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。
保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。
保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の - の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）
製品の名称 / シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間：9：00～12:00、13:00～18:00 月曜日～金曜日
（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）はご使用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・保証期間経過後の修理については、お見積りみの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 伊那サービスセンター（3番受入窓口）

TEL：0265-74-1423 FAX：0265-74-1403

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日
（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス（ ）等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社 Web サイトをご参照ください。

弊社 Web サイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただきますよう、お願いいたします。

Logitech D 端子 - RGB コンバータユニット・ユーザーズマニュアル

2005 年 10 月 改訂 LDC-RGB2 V02W

製造元：ロジテック株式会社

LDC-RGB2 V02W